

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	経済部企業誘致室参事	直通電話	72-3158	事業コード	104050102	課内	4	作成日	平成15年8月11日
	担当者		鍋谷 英幸	担当課長	池田 幸夫	担当部長			石黒 嗣康

1 事業のアウトライン

1) 事業名	新港インフォメーション事業	開始年度	7	終了年度	未定										
		最近の事業内容見直し年度													
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">施策コード</th> <th style="width: 90%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>1040501</td> <td>港湾の整備 / 石狩湾新港 港湾利用の促進</td> </tr> <tr> <td>1040401</td> <td>港湾の整備 / 石狩湾新港 親しみのある港づくり</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	1040501	港湾の整備 / 石狩湾新港 港湾利用の促進	1040401	港湾の整備 / 石狩湾新港 親しみのある港づくり				
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目														
1040501	港湾の整備 / 石狩湾新港 港湾利用の促進														
1040401	港湾の整備 / 石狩湾新港 親しみのある港づくり														
3) 個別計画での位置付け															

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	石狩湾新港の利用向上と地域の活性化
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	石狩湾新港に入港する船舶船員の石狩市内商業・観光施設利用拡大
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	石狩湾新港に入港する船舶の船員に対して、インフォメーションオフィスへの来訪時、または船内訪問により、石狩市の地理、観光パンフレットの配布や公共施設、店舗、飲食店、サービス施設、観光施設などの情報提供を行なう業務を委託している。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	平成6年6月に開港した石狩湾新港を利用する船員向けに、7年度から、港湾管理者が港の情報を、市がまちの商業・観光施設情報を提供してきている。類似事業としては、小樽市においてロシア船員向けのインフォメーションセンター事業を実施している。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	特になし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	1,344	1,344	1,344	700	委託費	1,344
2) その他の間接経費(千円)						
3) 従事正職員の人件費(千円)	329	332	330			0
総事業費(1~3の合計;千円)	1,673	1,676	1,674			
総事業費中の一般財源(千円)	1,674	1,674	1,674			
市民一人当たり一般財源使用額(円)	30	30	30			
事務に従事した正職員のべ人数	0.04人	0.04人	0.04人			
					H14 主な特定財源の内訳	
						金額(千円)

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	
ポートインフォメーション利用者数(延べ人数)	目標値	1,148	1,597	1,599	868	石狩湾新港入港外国商船の推移により目標値を設定
	実績値	1,402	1,222	1,022		
	達成率	122.1%	76.5%	63.9%		
施設の案内件数(人)	目標値	862	1,134	1,144	727	石狩湾新港入港外国商船の推移により目標値を設定
	実績値	996	874	856		
	達成率	115.6%	77.0%	74.9%		
地理、観光マップ配布資料枚数	目標値	57	647	789	455	石狩湾新港入港外国商船の推移により目標値を設定
	実績値	568	603	535		
	達成率	994.4%	93.2%	67.8%		

5 事業の成果

事業名：新港インフォメーション事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
外国船員の市内施設 利用割合(%)	目標値		70		70	前年度実績値を目標値に設定平成13年度実 施の「利用者アンケート」における市内施設の 利用率(12・14年度は未実施)	アンケート 調査結果 報告書
	実績値		32		目標レベル		
	達成率		45.7%				
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、 事業改善等の効果はど うだったか	石狩湾新港を利用する外国船舶数の推移は、平成14年こそ前年を下回ったが着実に増加していることから、外国船員も同様に増加しているはずだが、船舶の定期化により情報を求めなくなる場合を差し引いても、利用者が減少している点が問題である。また、他地域の施設を利用したケースも想定され、ビジネスチャンスの喪失も考えられる。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の 達成に効果があるか、ま た、市民(対象者)に必要 とされているか	石狩市にとって、外国から初めて石狩の地を踏み船員へ市内の情報を提供し、市内商業観光施設の利用を促すことは、経済的な面から必要な事業である。しかし、積極的に情報提供を行なうためのスタッフに限りがあることなど、手法に問題があることから、事業目的達成への有効性には疑問がある。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与す る必要があるか、市がど こまで関与するのが適当 か	情報提供に求められている公平性の観点から、市は関与すべきと考えるが、直接成果が見込まれる事業者が、より積極的に関与する必要がある。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるた めには今の事業内容が 適当か、受益と負担の関 係に不公平はないか	船舶入港時に、直接船舶に出向き情報提供を行なうなど、事業内容は妥当であるが、スタッフが少なくきめ細かいサービスにはなっていない。一方、受益者である商業施設側に負担が無いことには疑問がある。				

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	C	[最終評価]	D (前年度)
	港湾の管理者における港の利用振興、自治体における地域の活性化といった本来の事業目的を整理し、それぞれの役割を分けるため、事業内容を見直す必要がある。		[室長評価] 商業施設側が関与できるような事業内容となっていない点に問題があると考え。 [市長評価] 室長評価を了承する。	

8 今後の方向性・課題

担当課長 評価	この事業は市内の情報に疎い船員と市内事業者などのために行なうものであることから、語学に堪能で細やかなサービスを実施することが可能な人材を確保し、効果的な事業内容を検討すべきと考える。また、事業者の積極的な関与と応分の負担も必要と考える。
最終評価	[室長] 事業者の関与を促しつつ、利用者により利便性の高い情報を提供できるよう、事業内容を見直す必要があるが、今般の厳しい財政状況から本事業を当面の間休止する。 [市長評価] 室長評価を了承する。

9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業 規模	拡大方向		
	現状維持		*
	縮小方向		
	統 合		
	休・廃止		
上につ いての 説明	[課長] 情報提供には、きめ細やかなサービスを必要とするため、有能なスタッフが必要であることから、15年度に減額した予算を元に戻すべきと考える。[市長評価] 室長評価を了承する。		